

# ファインテラス (超大型タイプ) 組立施工マニュアル


## <目次>

● 販売店・工事店様へのお願い	..... P 1
● 規格寸法図・規格寸法表	..... P 2
● 規格表	..... P 3
● 組立手順	..... P 5
単体タイプの組立	
連棟タイプの組立	
雪除けカバーの組立	
● 基本納まり図	..... P 13

## 販売店・工事店様へのお願い

### ● 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵 表 示	意 味
 <span style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">注意</span>	使用者がこの表示を無視して取り扱おうと人的、物的損害の予想されることを示します。

### 注意

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ビスは、たつき込まずに確実にねじ込んでください。また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を縫ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 積雪地域で使用することは避けてください。
- 設置場所等で、地盤から高く強風を受ける場所への設置は、事前に弊社営業所にご相談ください。

### お 願 い

- 施工を始めてから手直しが出来ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了後養生テープをはがしてください。
- この商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・固柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出していない場合、取り付かない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険です注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

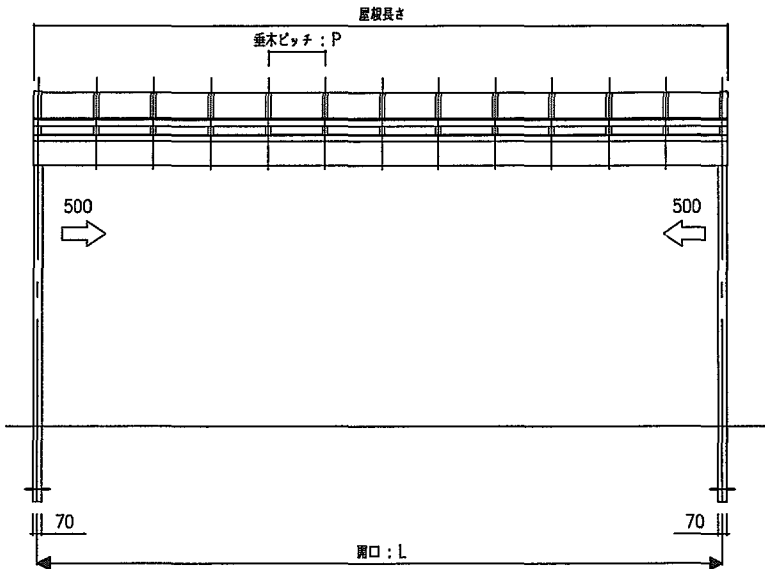
### ● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

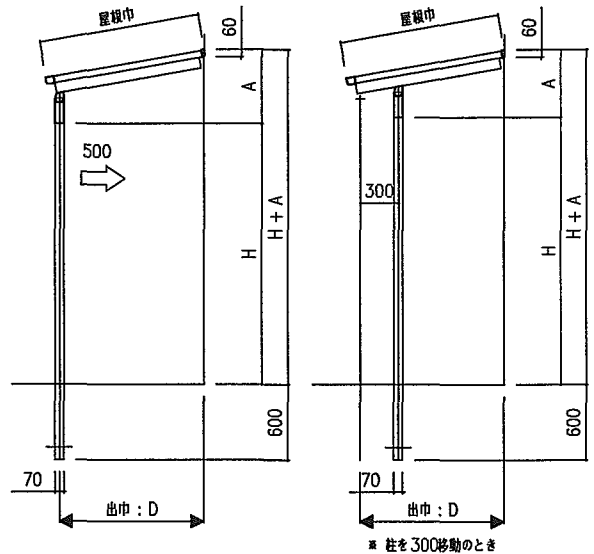
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● アルミ製品と <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">銅板やフス等</span> の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。</li> <li>● <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">輸入木材</span> には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。</li> <li>● モルタル用に <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">海砂</span> を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。</li> <li>● モルタルやコンクリートの <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">抽出液</span> が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● モルタルやコンクリートの <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">凝結材</span> は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。</li> <li>● 施工時にアルミ製品の表面に <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">付着</span> したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。</li> <li>● 腐蝕の恐れのある <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">接着材や科学薬品</span> を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。</li> </ul> |
|---|---|

# 規格寸法図 (F型)

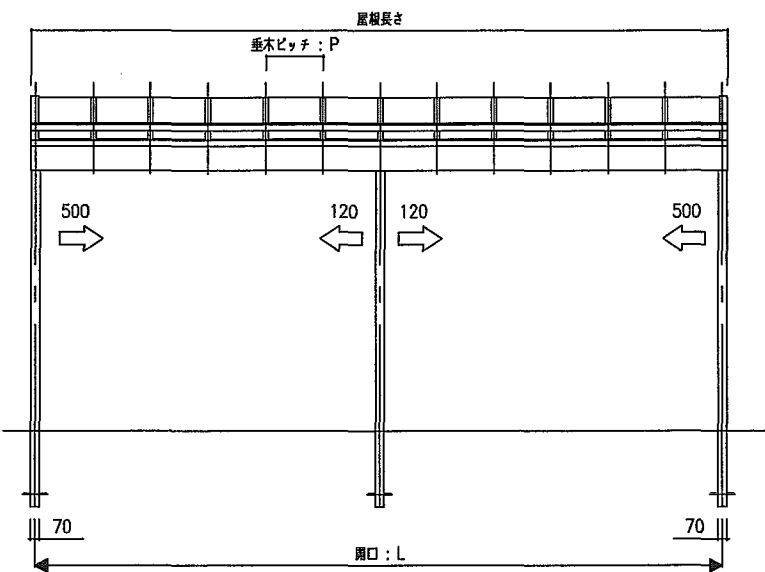
## ○ 単体姿図



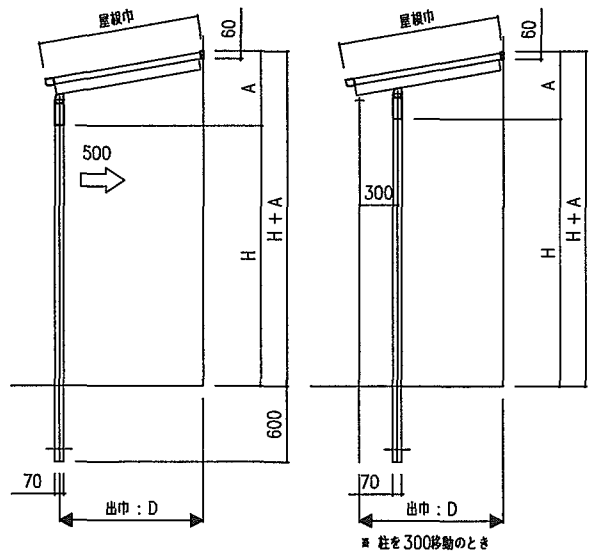
← は柱移動範囲を示す。 10°



## ○ 連棟姿図



← は柱移動範囲を示す。 10°



# 規格寸法表

### ○ 間口寸法

L	関東圏
1.5 間	2735
2.0 間	3644
2.5 間	4561
3.0 間	5470
3.5 間	6379
4.0 間	7288

### ○ 屋根長さ

	関東圏
1.5 間	2815
2.0 間	3724
2.5 間	4641
3.0 間	5550
3.5 間	6459
4.0 間	7368

### ○ 出巾寸法

	D
12 尺	3550
15 尺	4450
18 尺	5350
20 尺	5950

### ○ A 寸法

	移動無	300移動
12 尺	1017	964
15 尺	1175	1122
18 尺	1334	1281
20 尺	1440	1387

### ○ 屋根巾

	F型
12 尺	3716
15 尺	4630
18 尺	5544
20 尺	6153

### ○ たる木ピッチ

	P
関東圏	455.5

### ○ 高さ寸法

	H
高さ	2900

規格表

○ 横材 (F型)

名称	部品番号	製品記号 (関東圏)			
		■JGY15S	■JGY20S	■JGY25S	■JGY30S
前枠	—	2735 x 1	3644 x 1	4561 x 1	5470 x 1
移動桁	—	2735 x 1	3644 x 1	4561 x 1	5470 x 1
たる木掛け	—	2735 x 1	3644 x 1	4561 x 1	5470 x 1
セット部品		SE-1477-05	SE-1477-06	SE-1477-07	SE-1477-08
		SE-1023-03	SE-1023-04	SE-1023-05	SE-1023-06
コーチスクリューφ6X70	—	4	5	6	7
フッシャー M6	—	4	5	6	7
返しロバッキン	T-1002	1	1	1	1
返しロカバ	T-1003	1	1	1	1
トラスタイプピン3編φ4X12	—	2	2	2	2
側枠取付金具	EB-2163R	1	1	1	1
側枠取付金具	EB-2163L	1	1	1	1
六角ボルトM5X10	—	2	2	2	2
接ナットM5	—	2	2	2	2
フッシャーM5	—	2	2	2	2
スプリングM5	—	2	2	2	2
側枠取付フック	BP-3037R	1	1	1	1
側枠取付フック	BP-3037L	1	1	1	1
たる木取付フック	AB-1203	2	3	4	5
トラスタイプピンφ5X12	—	12	16	20	24
トラスタイプピンφ5X12	—	2	2	2	2
セルフトリピンφ5X13	—	6	8	10	12
接ナット	GB-1332	3	4	5	6

○ 補強桁 (F型・超大型タイプ)

名称	部品番号	製品記号 (関東圏)			
		■JGK15B	■JGK20B	■JGK25B	■JGK30B
補強桁	—	2735 x 1	3644 x 1	4561 x 1	5470 x 1
雪除けカバー	—	2775 x 1	3684 x 1	4601 x 1	5510 x 1
セット部品		SB-3527-02	SB-3527-03	SB-3527-04	SB-3527-05
六角ボルトM8X16	—	7	8	9	10
フッシャーM8	—	7	8	9	10
スプリングフッシャーM8	—	7	8	9	10
接ナットM8	—	7	8	9	10
防水ビス	—	4	5	6	7
雪除けカバー連結板	J-1083	—	—	—	1

○ 柱 (F型)

名称	部品番号	製品記号	
		■JGPSL	■JGRPSL
柱	—	3500 x 2	3500 x 1

○ 中骨 (F型)

名称	部品番号	製品記号 (関東圏)		
		■JGM4SN	■JGM6SN	■JGM10SN
中骨	—	411 x 4	411 x 6	411 x 10
中骨フック	IB-1098	8	12	20

○ 側枠 (F型・超大型タイプ)

名称	部品番号	製品記号			
		■JGFG12	■JGFG15	■JGFG18	■JGFG20
側枠カバー	—	3637 x 2	4550.5 x 2	5464.5 x 2	6074 x 2
側枠 L	—	3627 x 1	4541 x 1	5455 x 1	6064 x 1
側枠 R	—	3627 x 1	4541 x 1	5455 x 1	6064 x 1
セット部品		SE-1505-01	SE-1505-02	SE-1505-03	SE-1505-04
組立型マニユアル	ME-1602	1	1	1	1
防水ビスφ5X16	—	38	46	56	62
防水ビスφ5X30	—	4	4	4	4
トラスタイプピン3編φ5X12	—	10	10	10	10
垂木・側枠フックL	EB-2222L	1	1	1	1
垂木・側枠フックR	EB-2222R	1	1	1	1
側枠端部キャップL	CY-1992L	2	2	2	2
側枠端部キャップR	CY-1992R	2	2	2	2
φ10乱差ボルト	M-212	2	2	2	2

製品記号の■部には色記号が入ります。

- S: セピアブラック
- H: ホワイト
- F: ファイングレー
- T: CBブラウン
- 8: CBステン

○ たる木 (F型・超大型タイプ)

名称	部品番号	製品記号							
		■JGFT121	■JGFT151	■JGFT181	■JGFT201	■JGFT122	■JGFT152	■JGFT182	■JGFT202
たる木	—	3627 x 1	4541 x 1	5455 x 1	6064 x 1	3627 x 2	4541 x 2	5455 x 2	6064 x 2
たる木カバー	—	3637 x 1	4550.5 x 1	5464.5 x 1	6074 x 1	3637 x 2	4550.5 x 2	5464.5 x 2	6074 x 2
セット部品		SE-1505-05	SE-1505-06	SE-1505-07	SE-1505-08	SE-1505-09	SE-1505-10	SE-1505-11	SE-1505-12
防水ビスφ5X16	—	19	23	28	31	38	46	56	62
防水ビスφ5X30	—	2	2	2	2	4	4	4	4
トラスタイプピン3編φ5X12	—	10	10	10	10	20	20	20	20
垂木・側枠フックL	EB-2222L	1	1	1	1	2	2	2	2
垂木・側枠フックR	EB-2222R	1	1	1	1	2	2	2	2
垂木端部キャップ	CY-1993	2	2	2	2	4	4	4	4
φ10乱差ボルト	M-212	2	2	2	2	4	4	4	4

## 規格表

### ○ 移動桁用 超大型タイプ 部品箱 (F型)

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号	
		■JGBSS	■JGBRSS
前枠ブケット L	IB-1095-L	1	
前枠ブケット R	IB-1095-R	1	
垂木掛ブケット L	IB-1092-L	1	
垂木掛ブケット R	IB-1092-R	1	
トラスタッピン3連φ4x10	—	6	
移動桁ブケット L	CB-1154-L	1	
移動桁ブケット R	CB-1154-R	1	
重タッピン2種ガイドφ4x60	—	2	
補強桁ブケット L	CB-1159-L	1	
補強桁ブケット R	CB-1159-R	1	
柱固定金具	AB-1042	2	
柱固定裏板	BP-1857	2	
柱固定金具 (連棟用)	AB-1043		1
柱固定裏板 (連棟用)	BP-1858		1
アンカー棒	AN-108	2	1
移動桁用前枠連結スリーブ	AB-1206		1
移動桁連結スリーブ	AB-1207		1
トラスタッピン3連φ4x12	—	6	
補強桁連結スリーブ	HO-1882		1
コーキング材	NBC-256	1	1
組立施工マニュアル	—	1	
六角ボルト M8x16	—	4	2
ワッシャー M8	—	4	2
スプリングワッシャー M8	—	4	2
トラスタッピン3連φ5x12	—	12	12
補強桁連結カバー	CY-1994		1
前枠連結カバー (移動桁用)	CY-1882		1
垂木掛連結カバー	CY-1883		1
セルフトリリングネジφ4x13	—		3
重セルフトリリングネジφ4x13	—		2
継ぎ20cm用注連ワッセル	ML-1063	1	
セルフトリリングネジφ5x13	—	2	
雪除けカバー-連結板	J-1083		1
孔フタゲッター	M-212	4	

### ○ 前枠ブラケットセット

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号	
		■JGBB8	■JGBB9
垂木取付ブケット	AB-1203	2	3
トラスタッピン3連φ5x12	—	8	12
セルフトリリングネジφ5x13	—	4	6

製品記号の■部には色記号が入ります。

S:セビアブラック  
H:ホワイト  
F:ファイングレー  
T:CBブラウン  
8:CBステン

### ○ ポリカーボネイト板 (F型・超大型タイプ)

名 称	サイズ W x L x T	製 品 記 号			
		AJGF121●	AJGF151●	AJGF181●	AJGF201●
ポリカーボネイト板	439 x 3671 x 2	1			
ポリカーボネイト板	439 x 4585 x 2		1		
ポリカーボネイト板	439 x 5499 x 2			1	
ポリカーボネイト板	439 x 6108 x 2				1

ポリカーボネイト板の●部には色記号

Z:ライトブロンズ (関東間)  
P:ブルースモーク (関東間)

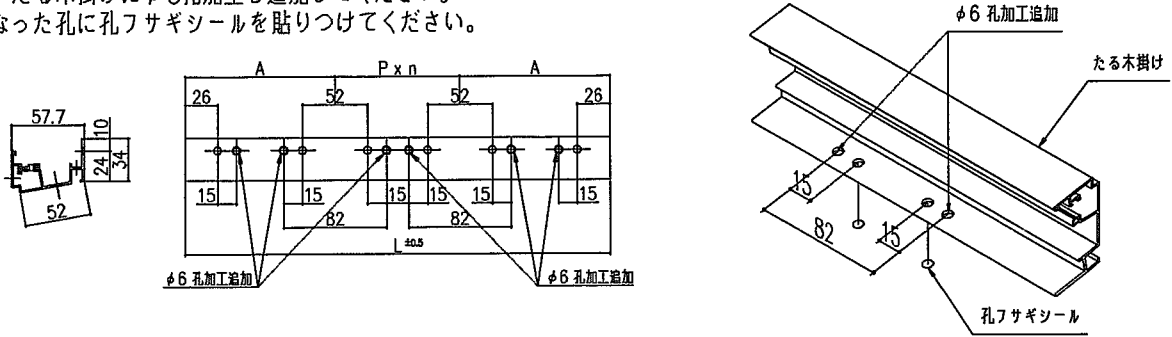
### ○ 雨樋 (F型)

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号							
		■JAABOX22	■JAABOX23	■JAAT27N	■JAAT30N	■JAAT35N	■JAABOX11N	■JAABOX12N	
流し口	T-1001	1	1						
流し口パッキン	T-1002	1	1						
エルボ88°	ETC-2435	3	4				10		
たて樋ソケット	T-1005	1	1					3	
固定バンドA	ETC-2436	4	4					10	
固定バンドB	ETC-2437	4	4					10	
接合剤	BC-2659	1	1						
トラスタッピン3連4x12	3TB4X12S	2	2						
セルフトリリングネジ4x19	DDAP4X19W	4	4					10	
ホビス4.1x45	WR41X45S	4	4					10	
組立施工マニュアル	ME-1655	1							
組立施工マニュアル	ME-1656		1						
ドレンエルボ	ETC-4077	1	1						
270°たて樋	ETC-2438-04			1					
300°たて樋	ETC-2438-02				1				
350°たて樋	ETC-2438-01					1			

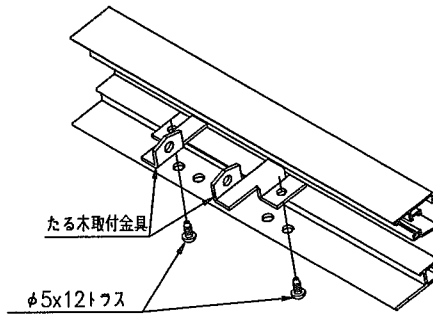
## 組立手順 (単体タイプ)

### ① たる木掛けとたる木の組立

- ◎ 開梱後、たる木掛けにφ6孔加工を追加してください。
- ◎ 不要になった孔に孔フサギシールを貼りつけてください。

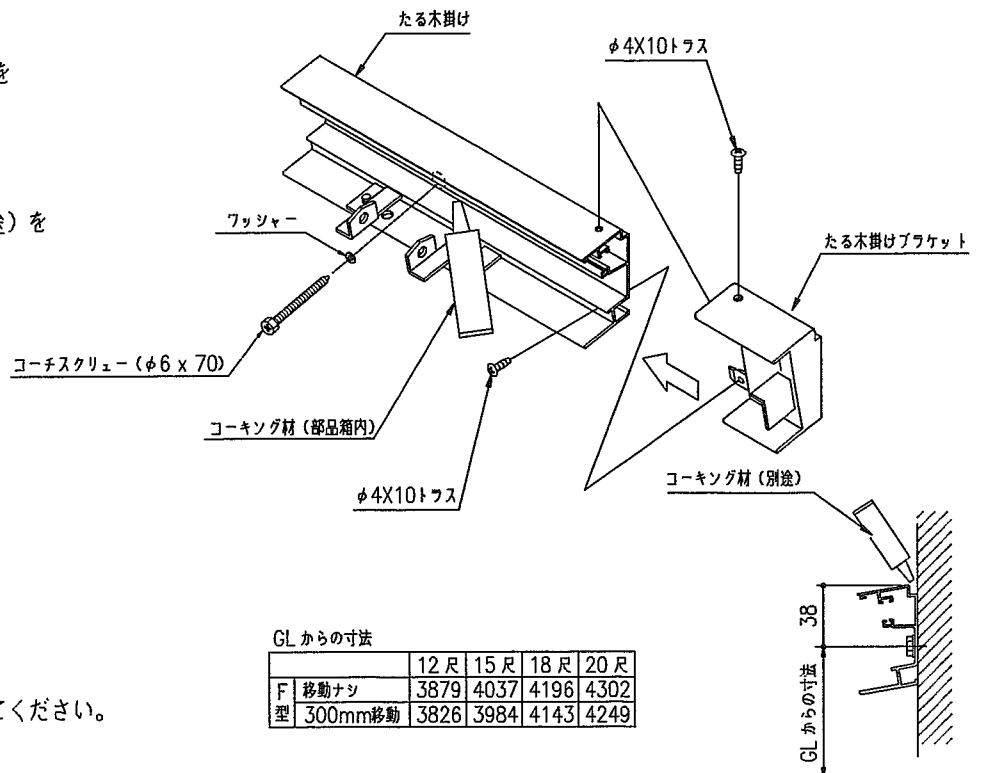


### ② ◎ たる木取付金具をたる木掛けにφ5x12トラスで取付けてください。



### ③ たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けに、たる木掛けブラケットをφ4X10トラスで固定してください。
- ◎ たる木掛けの高さを決めてφ6X70コーチスクリューで固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、コーキング材(別途)をしてください。



#### ⚠ 注意

- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材(部品箱内)を充てんしてください。

GLからの寸法

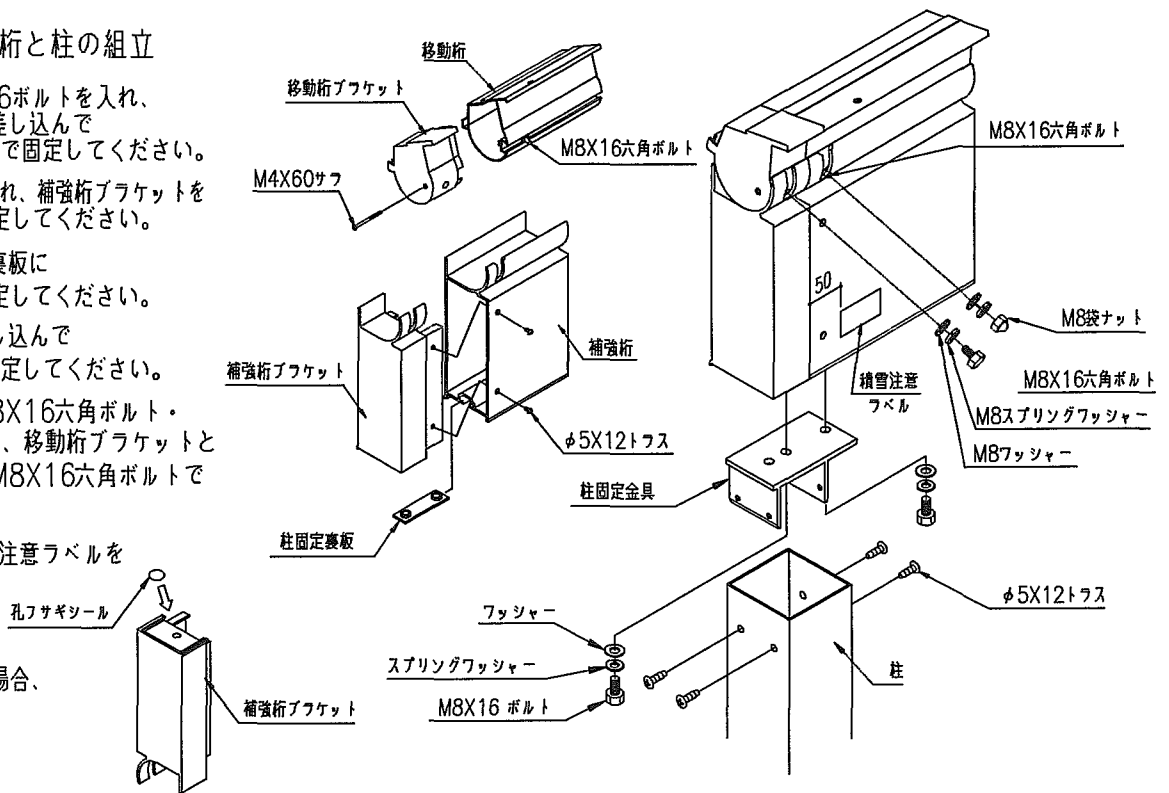
	12尺	15尺	18尺	20尺
F 移動ナツ	3879	4037	4196	4302
型 300mm移動	3826	3984	4143	4249

## 組立手順 (単体タイプ)

### ④ 移動桁・補強桁と柱の組立

- ◎ 移動桁の溝にM8X16ボルトを入れ、移動桁ブラケットを差し込んで皿タップIN M4X60で固定してください。
- ◎ 柱固定裏板を補強桁に入れ、補強桁ブラケットをφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定金具を柱固定裏板にM8X16ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込んでφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 移動桁と補強桁をM8X16六角ボルト・M8袋ナットで固定し、移動桁ブラケットと補強桁ブラケットをM8X16六角ボルトで固定してください。
- ◎ 補強桁に積雪20cm注意ラベルを貼付けて下さい。

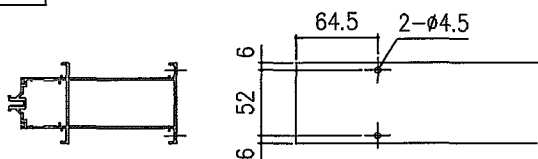
- ◎ 柱を内側に移動した場合、孔フサギシールを貼りつけてください。



### ⑤ 側枠・たる木 加工図 (前枠側)

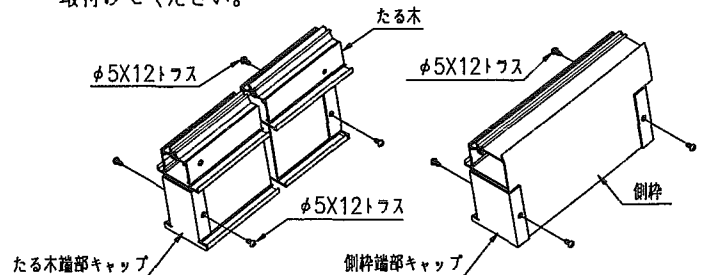
- ◎ 移動なしの場合の標準加工

たる木



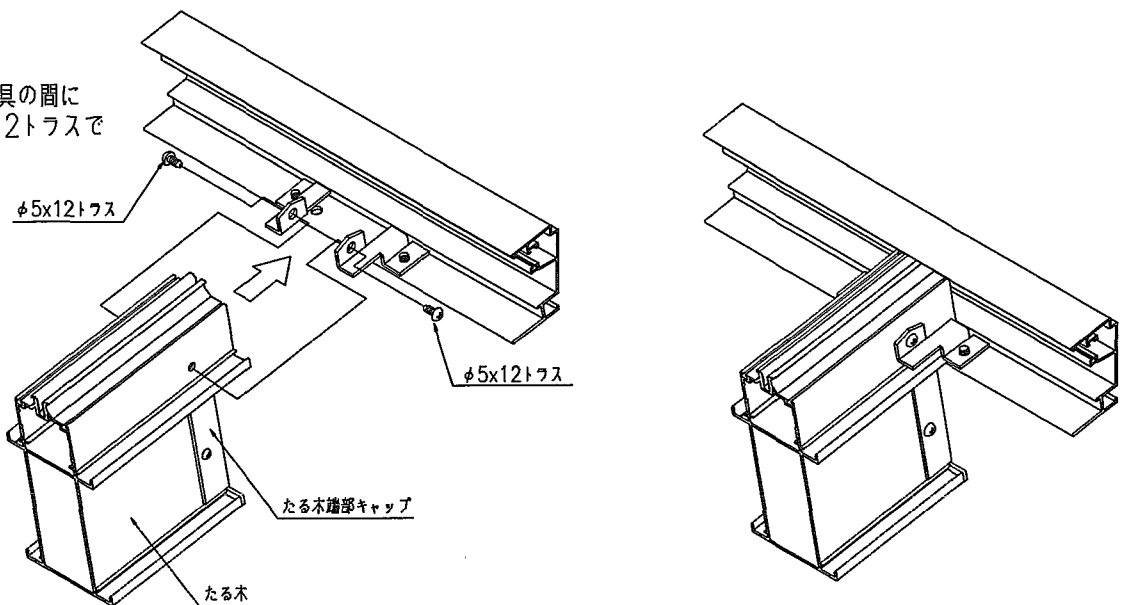
### ⑥

- ◎ たる木にたる木端部キャップをφ5x12トラスで取付けてください。



### ⑦

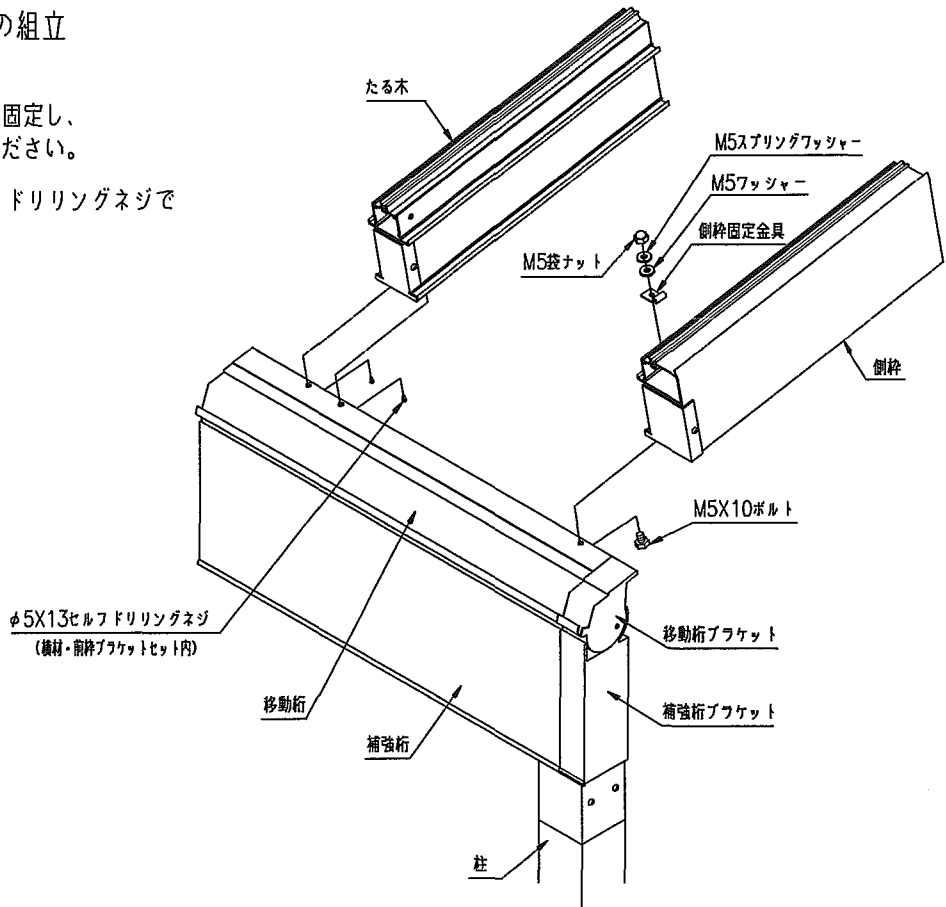
- ◎ たる木をたる木取付金具の間にスライドさせてφ5x12トラスで取付けてください。



## 組立手順 (単体タイプ)

### ⑧ 側枠・たる木と移動桁の組立

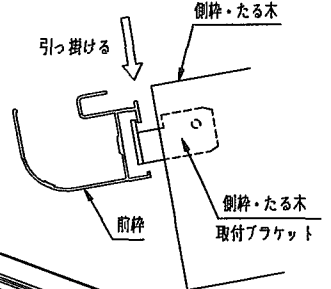
- ◎ 側枠固定金具で移動桁と側枠を仮固定し、柱の垂直を確認して本締めしてください。
- ◎ たる木・移動桁をφ5X13セルフドリリングネジで固定してください。



### ⑨ 前枠と側枠・たる木の組立

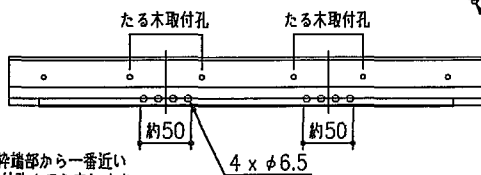
- ◎ 前枠と前枠ブラケットをφ4X10トラスで固定してください。
- ◎ 側枠と前枠を側枠取付ブラケットにて、M5X12トラスで固定してください。
- ◎ たる木と前枠をたる木取付ブラケットにて、M5X12トラスで固定してください。

※ 前枠を取付ブラケットに引っ掛けて保持して頂くと作業がしやすくなります。

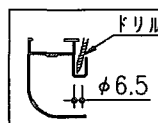
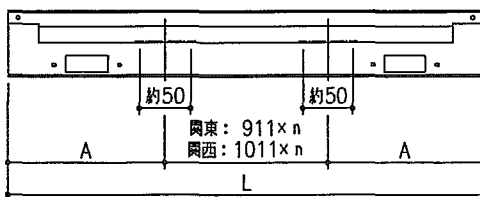


#### お願い

前枠を組立てる前にφ6.5孔加工を追加して下さい。  
孔位置はたる木取付孔を目安にして下さい。



※ Aは、前枠端部から一番近いたる木取付孔までを表します。



※ 水抜けを良くするためドリルを斜めにして孔を明けて下さい。

#### 注意

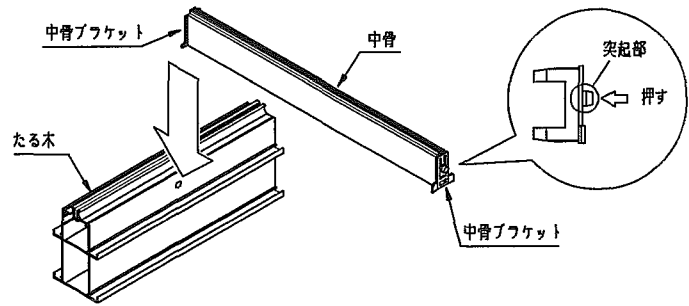
側枠取付ブラケット・たる木取付ブラケットは組立てる前に、側枠・たる木に取付けておいてください。



## 組立手順 (単体タイプ)

### ⑩ 中骨の組立

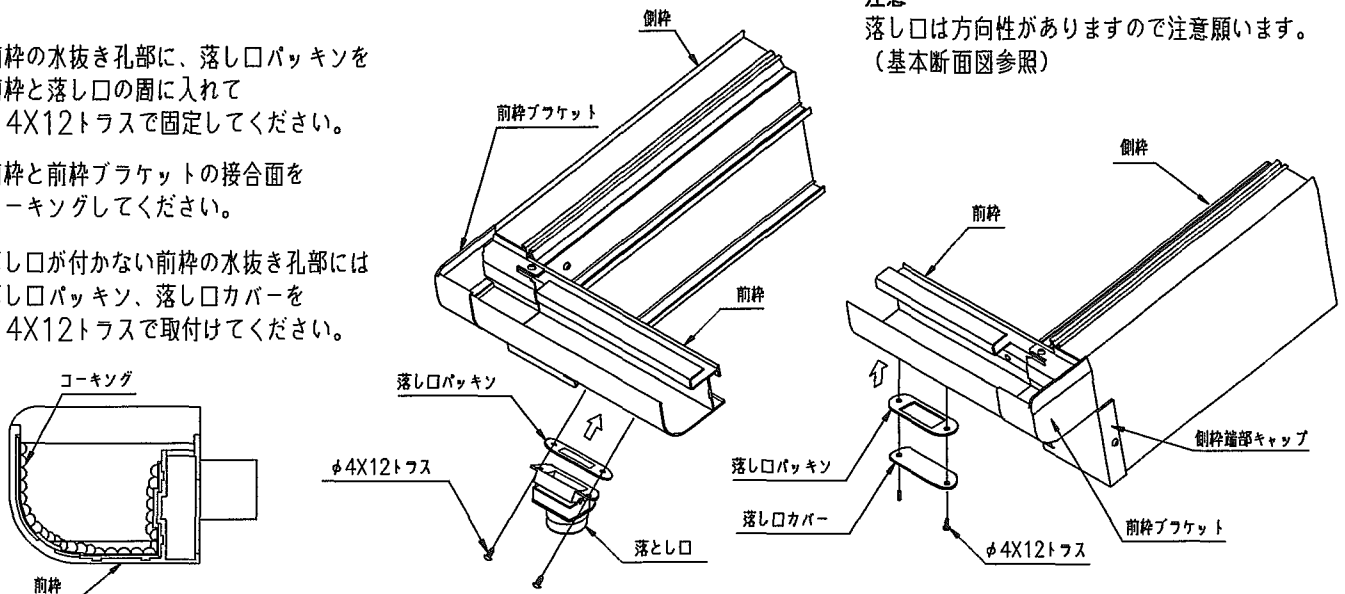
- ◎ たる木・側枠の孔に合せ、中骨ブラケットの突起部を押しながら差込んでください。
- ※ 中骨に前後左右の向きはありません。



### ⑪ 落とし口と落とし口カバーの組立

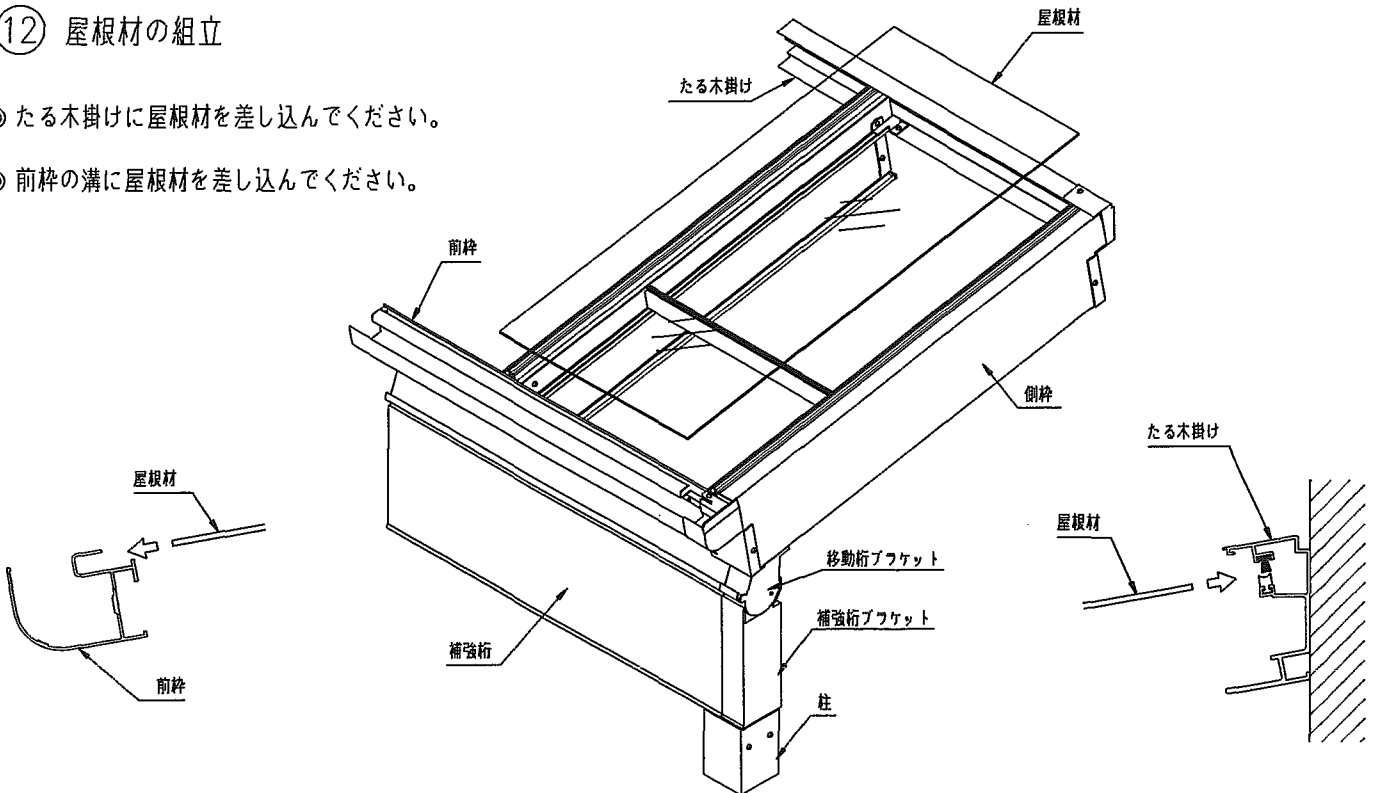
- ◎ 前枠の水抜き孔部に、落とし口パッキンを前枠と落とし口の周りに入れてφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 前枠と前枠ブラケットの接合面をコーキングしてください。
- ◎ 落とし口が付かない前枠の水抜き孔部には落とし口パッキン、落とし口カバーをφ4X12トラスで取付けてください。

注意  
落とし口は方向性がありますので注意願います。  
(基本断面図参照)



### ⑫ 屋根材の組立

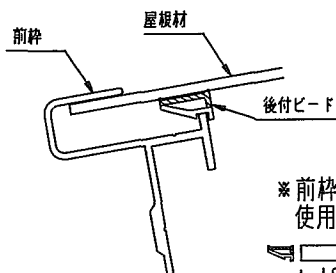
- ◎ たる木掛けに屋根材を差し込んでください。
- ◎ 前枠の溝に屋根材を差し込んでください。



## 組立手順 (単体タイプ)

### ⑬ たる木カバーの組立

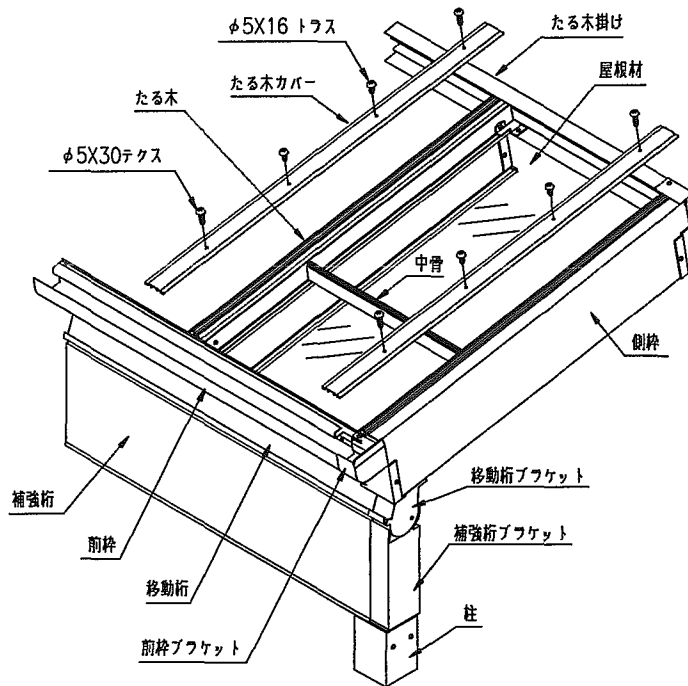
- ◎ たる木カバーで屋根材を固定してください。(φ5X16防水トラス)
- ※ たる木カバー両端固定ビスは抜け防止のため、φ5X30防水テクスビスで取付けてください。
- ◎ 前枠に後付ビードを嵌め込んでください。



※前枠の後付ビードを切って使用してください。

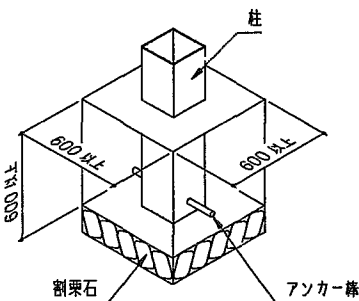
LS	LS	関東圏
L		L 870
LS		LS 414.5

※2本取り



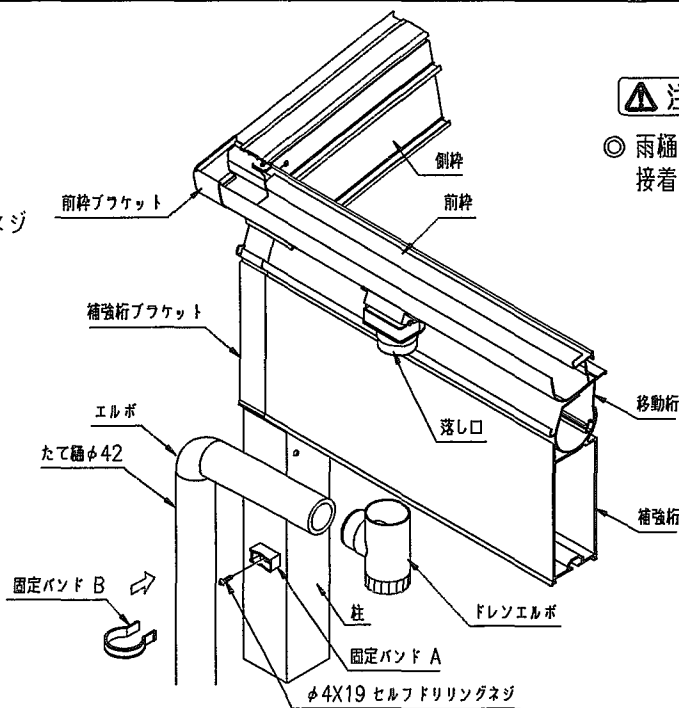
### ⑭ 柱の固定

- ◎ 柱にアンカー棒を差し込んでください。
- ◎ 基礎巾 600mm 以上・基礎深さ 600mm 以上で必ず、割栗石をいれてください。



### ⑮ 雨樋の組立

- ◎ 落とし口に、ドレンエルボを接着材を塗布して固定してください。
- ◎ 柱に、固定バンド A をセルフドリリングネジ φ4X19 で、固定してください。
- ◎ ドレンエルボに、たて樋を接着材を塗布して固定してください。
- ◎ たて樋を、固定バンド A、B で柱にして固定してください。



#### ⚠ 注意

- ◎ 雨樋の接合面には、必ず付属の接着材を塗布してください。

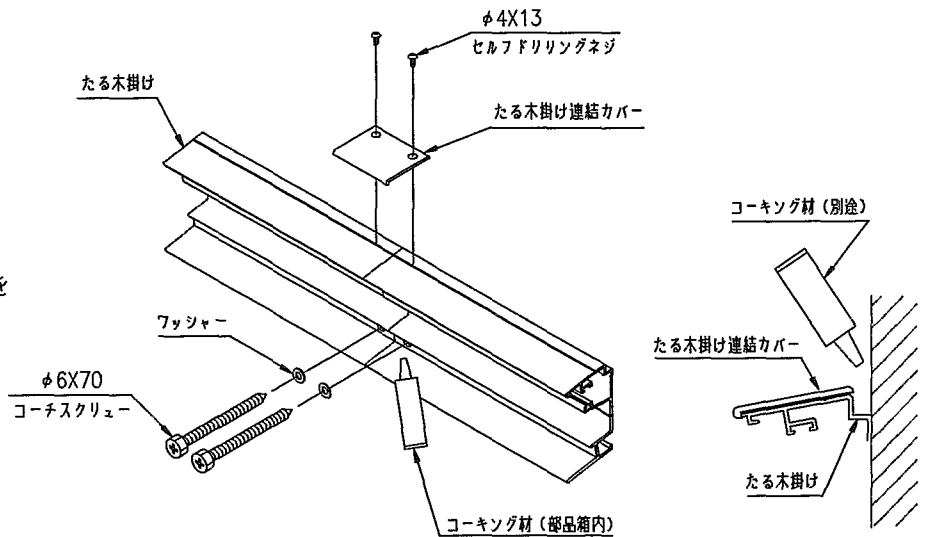
# 組立手順 (連棟タイプ)

## ① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けを合わせてφ6X70コーチスクリューで固定してください。
- ◎ たる木掛け連結カバーの離型紙をはがし、たる木掛けの連結部に貼り付け、φ4X13セルフドリリングネジで固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、コーキング材(別途)をしてください。

### ⚠ 注意

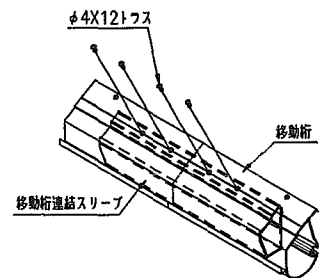
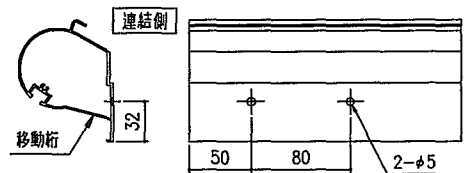
- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材(部品箱内)を充てんしてください。



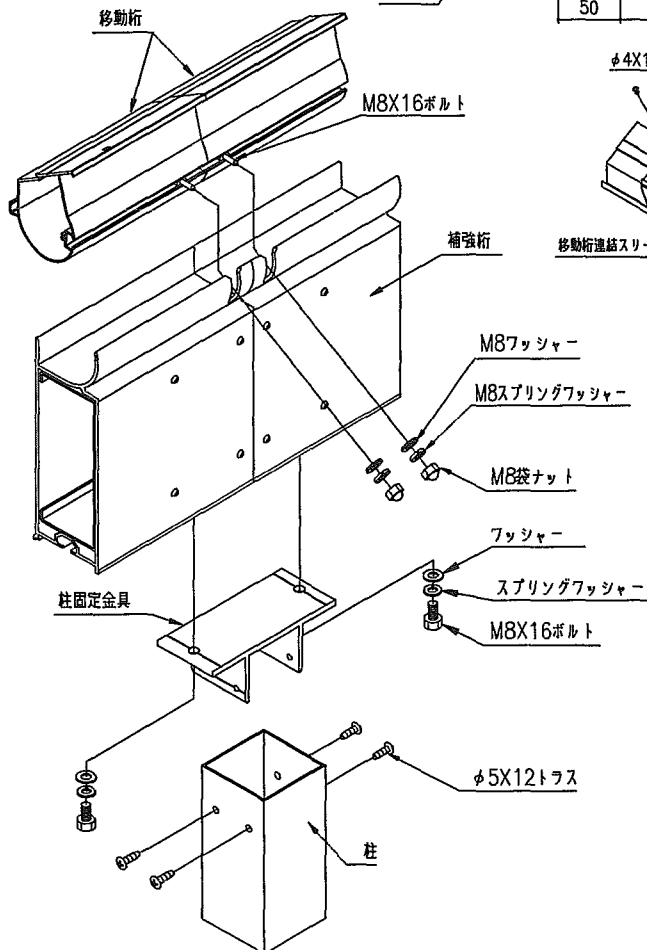
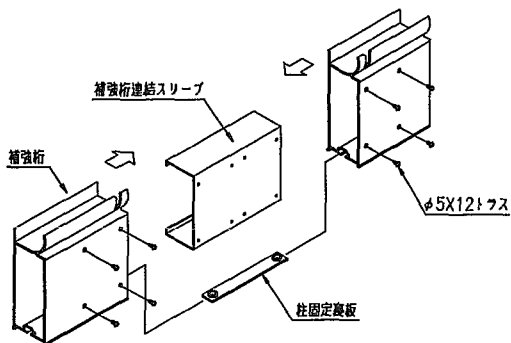
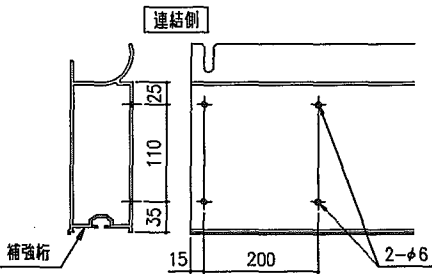
## ② 移動桁・補強桁の連結と柱の組立

- ◎ M8X16ボルトと移動桁連結スリーブを移動桁の中に差し込んでφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定裏板と補強桁連結スリーブを補強桁の中に差し込んでφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定金具を柱固定裏板にM8X16ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込んで、φ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 移動桁と補強桁を、M8X16ボルト・袋ナットで固定してください。

### ※ 移動桁連結スリーブ取付け用加工位置



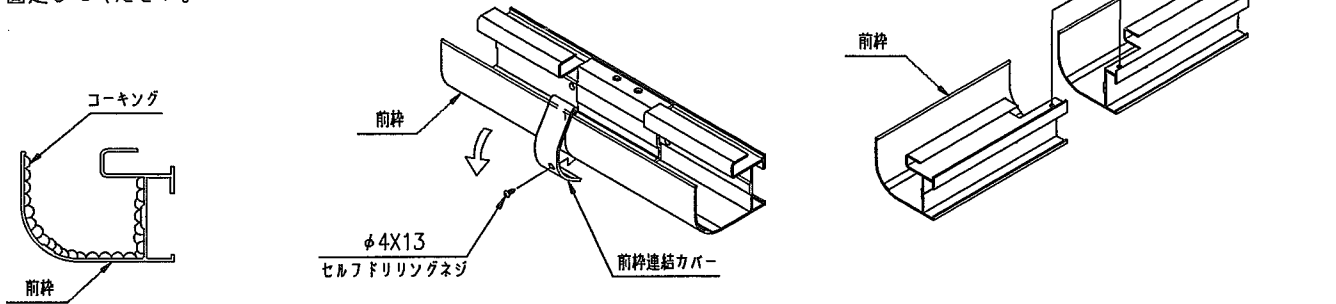
### ※ 補強桁連結スリーブ取付け用加工位置



## 組立手順 (連棟タイプ)

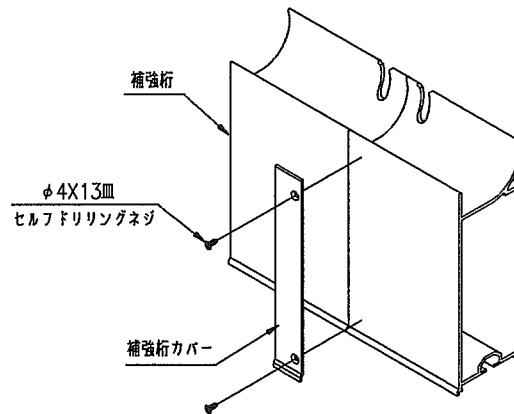
### ③ 前枠の組立

- ◎ 前枠の連結部をコーキングしてください。
- ◎ 前枠と前枠連結スリーブをφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 前枠連棟カバーをφ4X13セルフドリリングネジで固定してください。



### ④ 補強桁の組立

- ◎ φ4X13皿セルフドリリングネジで固定してください。



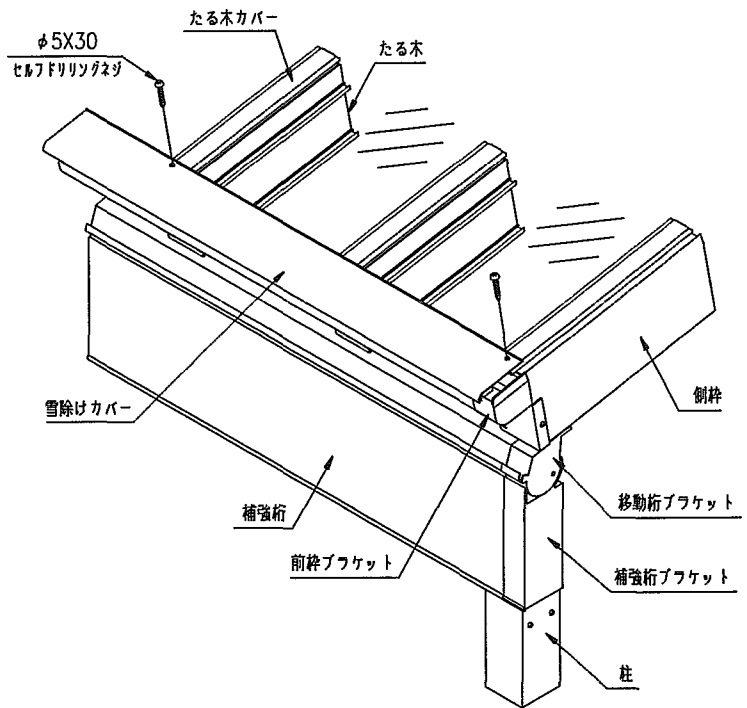
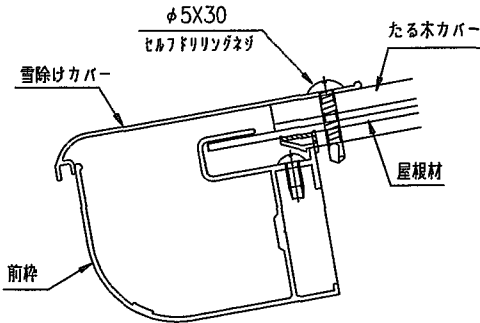


# 組立手順 雪除けカバー<積雪タイプ用部材>

※前枠に雪が溜まるのを防ぐ部材です。  
必要に応じ取付けて下さい。

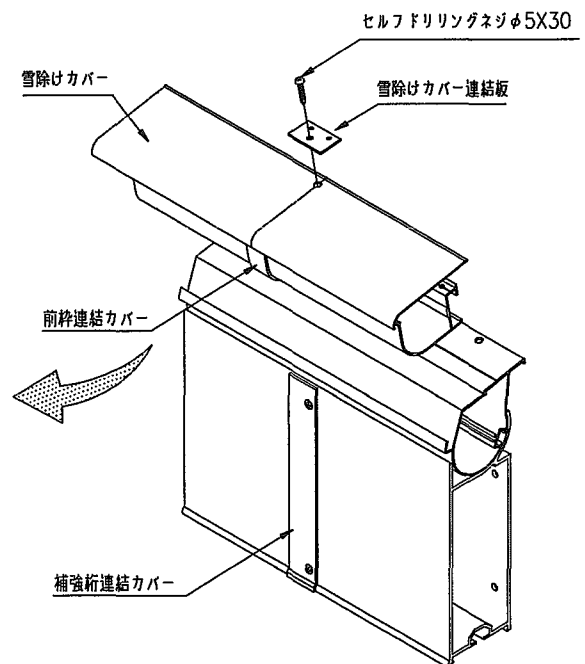
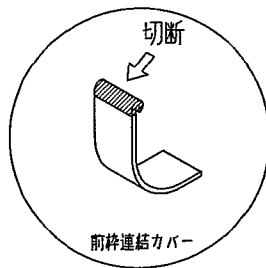
## ① 雪除けカバーの組立

◎ 雪除けカバーをセルフドリリングネジφ5X30で固定してください。

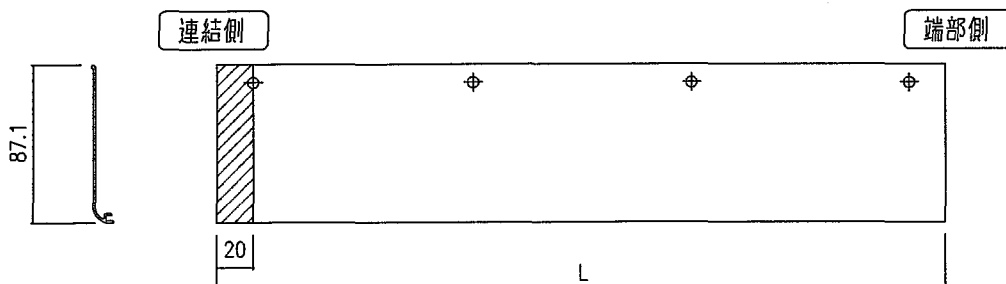


## ② 雪除けカバーの組立 (連棟タイプ)

- ◎ 下記の加工図を参考に、それぞれの連結側のみ切断してください。
- ◎ 前枠連結カバー下図のように上部のかかり部分のみ切断して、取付けてください。
- ◎ 雪除けカバーの連結部は、雪除けカバー連結板をあてセルフドリリングネジφ5X30で固定してください。

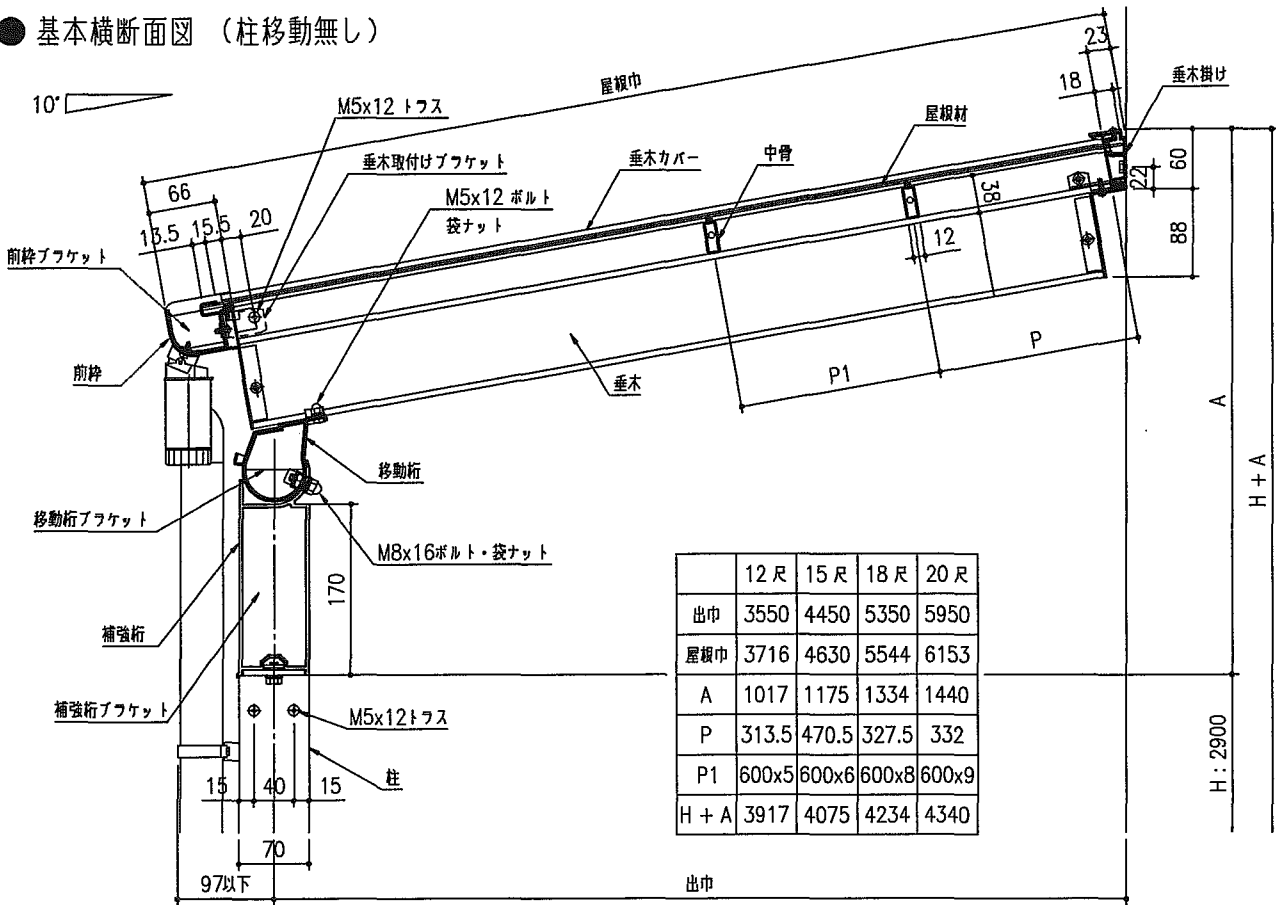


<雪除けカバー切断加工図>

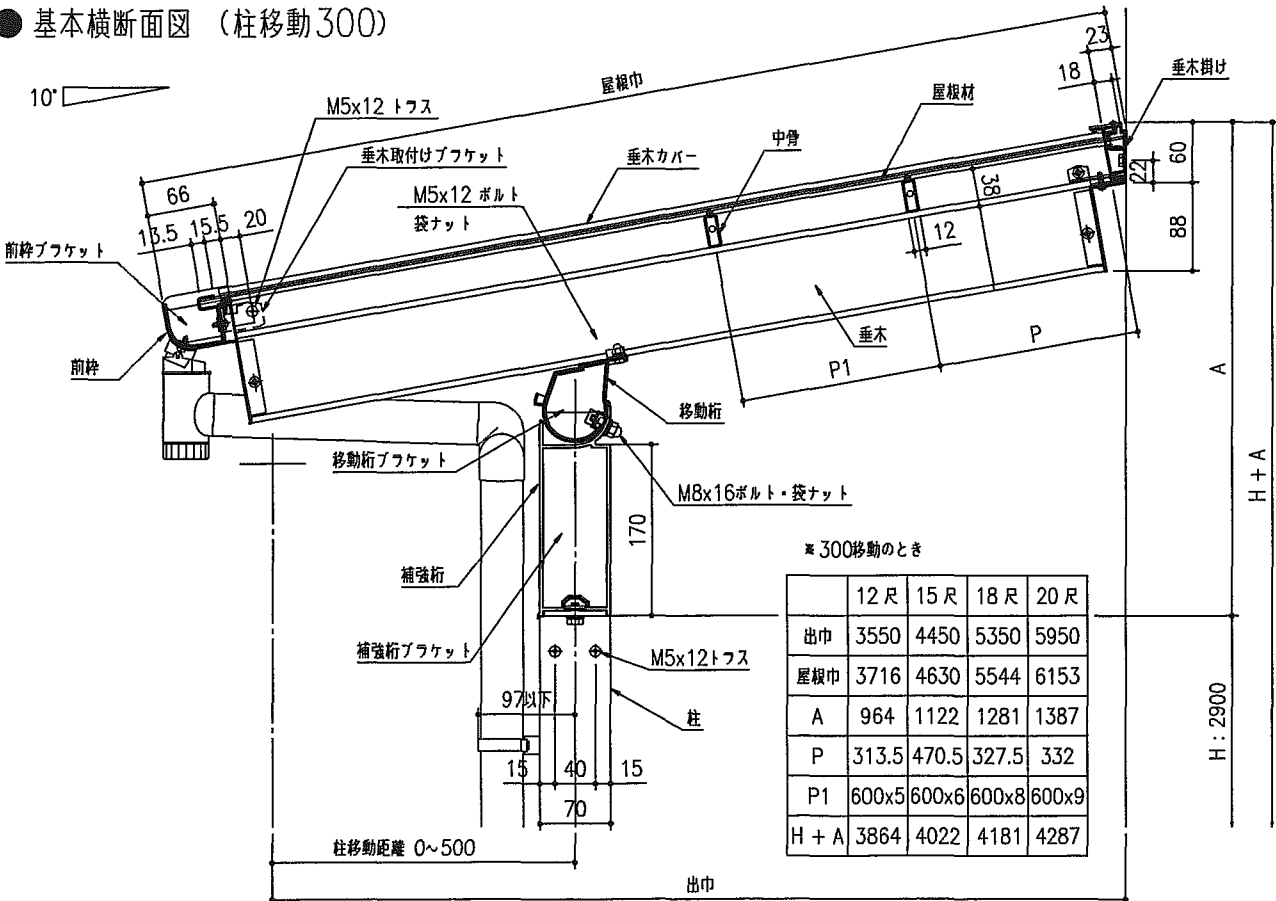


# 基本納まり図 (超大型タイプ・F型)

## ● 基本横断面図 (柱移動無し)



## ● 基本横断面図 (柱移動300)



基本納まり図 (超大型タイプ・F型)

